

【別表】30.4.1採用パーマネント研究職員 ポスト一覧

課題番号	機関名	研究領域	所在地	課題名	業務内容※
P1	北海道農業研究センター	生産環境研究領域・病虫害グループ	北海道札幌市	寒地大規模畑作における重要病害虫の総合的管理技術の開発	(1)種いも生産工程におけるジャガイモ黒あし病菌種の生態解明 (2)菌種の生態知見にもとづいた種いも生産工程におけるジャガイモ黒あし病管理技術の開発 キーワード: 生産工程管理、蔓延防止
P2	北海道農業研究センター	酪農研究領域・自給飼料生産・利用グループ	北海道札幌市	寒地における自給濃厚飼料の低コスト生産利用技術の開発	(1)寒地におけるとうもろこし穀実サイレージの高品質調製貯蔵技術の開発 (2)自給濃厚飼料の採食性等家畜の生理反応に基づく飼料特性評価 キーワード: 飼料調製・評価、イアコーン、穀実サイレージ、乳牛
P3	北海道農業研究センター	大規模畑作研究領域・大規模畑作グループ	北海道河西郡芽室町	ビッグデータを活用した新たな畑作物育種のための系統評価手法の開発	(1)テンサイ育種におけるリアルタイム群落内環境と表現型データの収集および品種・環境相互関係の解析 (2)群落レベルでの生育特性とゲノム情報等の統合解析による系統評価手法の開発 キーワード: 微気象、ビックデータ、テンサイ、育種
P4	北海道農業研究センター	酪農研究領域・放牧・草地管理グループ	北海道札幌市	寒地における高品質粗飼料生産に向けた牧草地の省力管理技術の開発	(1)センシング技術に基づく草地監視システムの開発 (2)草地監視システムを利用した高品質牧草飼料の省力生産技術の開発 キーワード: ICT、センシング技術、牧草地、省力管理
P5	東北農業研究センター	生産基盤研究領域・技術評価グループ	岩手県盛岡市	高収益な大規模水田作経営確立のための開発技術の評価と普及方策の提示	(1)水稲乾田直播栽培等、開発技術の経営的特性評価 (2)大規模水田作経営における水稲乾田直播栽培等、開発技術の導入条件の解明 (3)多様なチャンネルを活用した開発技術の普及方策の提示 キーワード: 水稲、高収益、大規模経営、技術評価、普及方策
P6	中央農業研究センター	水田利用研究領域・北陸作物栽培グループ	新潟県上越市	極多収稲素材開発に向けた転流・登熟能による生理的多収要因の解明	(1)多収稲の転流・登熟能の評価指標の確立 (2)QTL解析による転流・登熟能に関する多収遺伝要因の解明 (3)転流・登熟能を向上させた多収素材の評価 キーワード: 多収稲、転流・登熟、メタボローム解析、ハイブリッド、素材
P7	西日本農業研究センター	水田作研究領域・麦類育種グループ	広島県福山市	西日本地域におけるデュラム小麦および裸麦の赤かび病抵抗性育種に関する基盤構築	(1)赤かび病抵抗性デュラム小麦の開発 (2)裸麦の赤かび病抵抗性に関する検定法およびDNAマーカーの開発 キーワード: 品種改良、小麦、大麦、マーカー選抜
P8	西日本農業研究センター	傾斜地園芸研究領域・傾斜地野菜生産グループ	香川県善通寺市	中山間地域の収益向上につながる野菜、薬用作物等の安定生産技術の開発と新規就農者への技術移転のための見える化	(1)中山間地域の収益向上につながる野菜、薬用作物等の特産作物を活用した低コスト安定生産技術の開発 (2)中山間地域における新規就農者の定着促進のための技術移転支援ツールの開発 キーワード: ICT、栽培環境、産地活性化、技術継承
P9	西日本農業研究センター	営農生産体系研究領域・機械作業・情報グループ	広島県福山市	営農現場ビッグデータの効率的収集と機械学習による作業支援情報提示	(1)作業判断に必要な圃場・作業のビッグデータの効率的獲得手法の開発 (2)圃場・作業のビッグデータに基づく意思決定支援情報導出のための機械学習手法の開発 (3)多筆圃場での効率的な生産のための作業支援情報活用技術の開発 キーワード: 営農情報、意思決定、暗黙知、形式知
P10	九州沖縄農業研究センター	生産環境研究領域・病害グループ	熊本県合志市	難培養病原体による新興・再興病害の検出・診断法と総合的管理技術の開発	(1)難培養病原体による新興・再興病害の効率的な検出・診断法の開発 (2)難培養病原体による新興・再興病害の発病リスク評価法と総合的管理技術の開発 キーワード: 突発性病害、難培養病原体、種子伝染性病害、細菌性病害
P11	九州沖縄農業研究センター	畜産草地研究領域・肉用牛生産グループ	熊本県合志市	先端技術の活用による牛群繁殖管理技術等の開発	(1)ICTを活用した肉用繁殖牛の省力的な発情検知技術の開発 (2)分子生物学的手法による黄体機能の解析 キーワード: 肉用牛繁殖、発情検知、黄体細胞、遺伝子発現
P12	果樹茶業研究部門	生産・流通研究領域・園地環境ユニット	茨城県つくば市	果樹生産における温暖化影響評価のための障害発生予測モデルの開発	(1)果樹の凍霜害発生予測モデルの開発 (2)高温が果実に及ぼす影響評価モデルの開発 キーワード: 農業気象、果樹栽培生理、気象観測、早期警戒システム
P13	果樹茶業研究部門	茶業研究領域・製茶・土壌肥料ユニット	静岡県島田市	茶園における物質動態解析に基づく省資源型茶園管理技術の開発	(1)茶園における窒素、炭素、リン、カリウム等の動態解析 (2)茶樹の生理生態学的特性の評価 キーワード: 物質循環、植物栄養、環境負荷低減、群落構造、永年性作物
P14	野菜花き研究部門	野菜病虫害・機能解析研究領域・果実形成ユニット	三重県津市	施設栽培トマトの果実収量・品質の環境応答および障害果発生分子生理機構の解明による高品質多収生産技術の構築	(1)トマト品種の果実品質・収量の環境ストレス応答の分子生理機構の解明とモデル構築 (2)トマト品種の裂果や尻腐れ果などの障害果発生の生化学・生物情報学的解析と障害低減技術の開発 キーワード: 遺伝子機能、オミクス解析
P15	野菜花き研究部門	野菜病虫害・機能解析研究領域・虫害ユニット	三重県津市	光を利用した難防除害虫の行動制御機構の解明と防除への応用	(1)赤色光照射等による視覚情報の変化がアザミウマ類・コナジラミ類の行動に及ぼす影響の評価 (2)光や色彩等の視覚情報を利用したアザミウマ類・コナジラミ類の防除技術の開発 キーワード: 微小害虫、行動解析、物理的防除

【別表】30.4.1採用パーマネント研究職員 ポスト一覧

課題番号	機関名	研究領域	所在地	課題名	業務内容 ※
P16	動物衛生研究部門	病態研究領域・寒地酪農衛生ユニット	北海道札幌市	牛乳房炎に対する粘膜ワクチンの開発	(1) 粘膜免疫を効率的に誘導するための最適抗原および免疫誘導剤の開発 (2) ブドウ球菌性乳房炎に最適なワクチネーションプログラムの検討とその評価 キーワード: 乳房炎、黄色ブドウ球菌、ワクチン、粘膜免疫
P17	動物衛生研究部門	越境性感染症研究領域・インフルエンザユニット	茨城県つくば市	高病原性鳥インフルエンザウイルスに対する宿主応答とウイルス抵抗性の解析	(1) 鳥インフルエンザウイルス感染時に宿主細胞で誘導される遺伝子のウイルス増殖に対する影響の解析 (2) 家禽の品種、系統の違い等による高病原性鳥インフルエンザに対する抵抗性の検索 キーワード: 高病原性鳥インフルエンザ、自然免疫、ウイルス感染抵抗性
P18	農村工学研究部門	地域資源工学研究領域・水文水資源ユニット	茨城県つくば市	農地および農業水利施設を活用した土砂災害リスク削減のための流域水管理手法の開発	(1) 豪雨および平水時の流域水循環に伴う土砂輸送の数値モデルの開発 (2) 農地および農業水利施設の管理による流域レベルの土砂流出抑制と水資源管理技術の開発 キーワード: 水・物質循環、土砂輸送、数値モデル、水田、流域水資源管理
P19	食品研究部門	食品生物機能開発研究領域・微生物機能ユニット	茨城県つくば市	発酵微生物の活用による食品製造技術の高度化及び有用物質生産技術の開発	(1) 高品質発酵食品や有用物質生産に適した微生物の育種 (2) 発酵食品製造時のストレスに対する応答機構の解析 キーワード: 発酵食品、微生物育種、ストレス応答
P20	生物機能利用研究部門	新産業開拓研究領域・カイコ機能改変技術開発ユニット	茨城県つくば市	遺伝子組換えカイコの生産性向上技術及び新たな生殖技術等の開発	(1) 遺伝子組換えカイコによる雄蚕飼育と不妊化技術の実用化 (2) 遺伝子組換えカイコの新たな生殖技術の実用化 (3) 遺伝子組換えカイコで生産した有用物質の繊維固定化技術の実用化 キーワード: 蚕業革命、生産性向上、オス化・不妊化、顕微人工授精、有用物質固定
P21	生物機能利用研究部門	遺伝子利用基盤研究領域・先進作物ゲノム改変ユニット	茨城県つくば市	多くの農作物に適用可能な汎用的かつ高精度のゲノム編集技術の開発	(1) 多様な作物種で汎用的に利用可能な相同組換えを介した標的組換え技術の開発とその高度化 (2) 標的遺伝子に望むべき変異を導入するための人工制限酵素を用いた標的変異技術の開発 (3) 人工制限酵素遺伝子を導入しないゲノム編集技術とゲノム中へ導入した人工制限酵素遺伝子の正確な除去技術の開発 キーワード: ゲノム編集、ジーンターゲットング(標的組換え)、標的変異、人工制限酵素
P22	次世代作物開発研究センター	ゲノム育種推進室	茨城県つくば市	作物のゲノム育種技術の高度化と育種支援	(1) ゲノム情報等を活用した作物育種技術の高度化・効率化 (2) 新たな作物育種技術の育種への応用、実証 (3) ゲノム育種技術による作物育種の支援 キーワード: オミクス、ゲノミックセレクション、マーカー選抜育種
P23	次世代作物開発研究センター	基盤研究領域・情報解析ユニット	茨城県つくば市	育種ビッグデータの構築と利用技術の開発	(1) 育種ビッグデータの解析による育種に有用な情報の抽出と育種戦略の提示 (2) 品種開発過程で生成される各種データの収集、加工と統合 (3) 過去に収集され利用されなくなったデータ(レガシーデータ)の整理、加工と統合 キーワード: スマート育種、大規模遺伝情報、栽培データ、統計モデル
P24	次世代作物開発研究センター	基盤研究領域・育種素材開発ユニット	茨城県つくば市	農業競争力強化のための、イネ遺伝資源の高度化に関する研究	(1) ゲノム情報を付与した多様性の高いイネ遺伝資源の整備と海外遺伝資源の導入・評価に関する研究 (2) イネ遺伝資源の多様性を規定する機能遺伝子解析技術の開発 キーワード: 植物遺伝資源、コアコレクション、ゲノム情報、国際共同研究
P25	農業技術革新工学研究センター	高度作業支援システム研究領域・高度土地利用型作業ユニット	茨城県つくば市	無人化に向けたマルチロボット作業システムの制御技術の開発	(1) 無人化に向けた農業ロボットシステムの安全性確保技術の開発 (2) 複数台の農業ロボット運用システムの開発 キーワード: 制御シミュレータ、AI、ディープラーニング、機械学習、画像処理、3Dマッピング技術
P26	農業環境変動研究センター	有害化学物質研究領域・作物リスク低減ユニット	茨城県つくば市	作物の有害物質吸収に関する分子機序の解明と吸収低減技術の開発	(1) 水稻のヒ素吸収・蓄積に関与する分子機序の解明と遺伝子診断技術の開発 (2) ヒ素低減遺伝子の効果が最大限に発揮できる環境要因の解明とリスク低減のための栽培管理技術の開発 キーワード: 分子生物学、無機元素分析、作物改良、リスク低減技術

※農研機構が第四期中長期目標を達成するために推進しているプロジェクト(大課題および中課題)については、以下のホームページに掲載されています。

【農研機構】<http://www.naro.affrc.go.jp/project/challenge/index.html>

※いずれのポストにおいても、採用直後2年間程度、農林水産省等への行政事務研修員として派遣する場合があります。

課題番号	最初の配属先	最初の勤務地	業務内容の詳細
P27	農研機構本部(研究職員)	茨城県つくば市 ※農林水産省等における研修の場合は、勤務地が東京都内となります。	○採用から2年程度 農研機構本部あるいは農林水産省等における行政事務研修(試験研究の重要事項の企画・立案・運営等) ○研修終了後は、研究の専門性、実績および適性等を考慮して、研究センター等に配置

【別表】30.4.1採用パーマネント研究職員 ポスト一覧

課題番号	機関名	研究領域	所在地	課題名	業務内容 ※
------	-----	------	-----	-----	--------